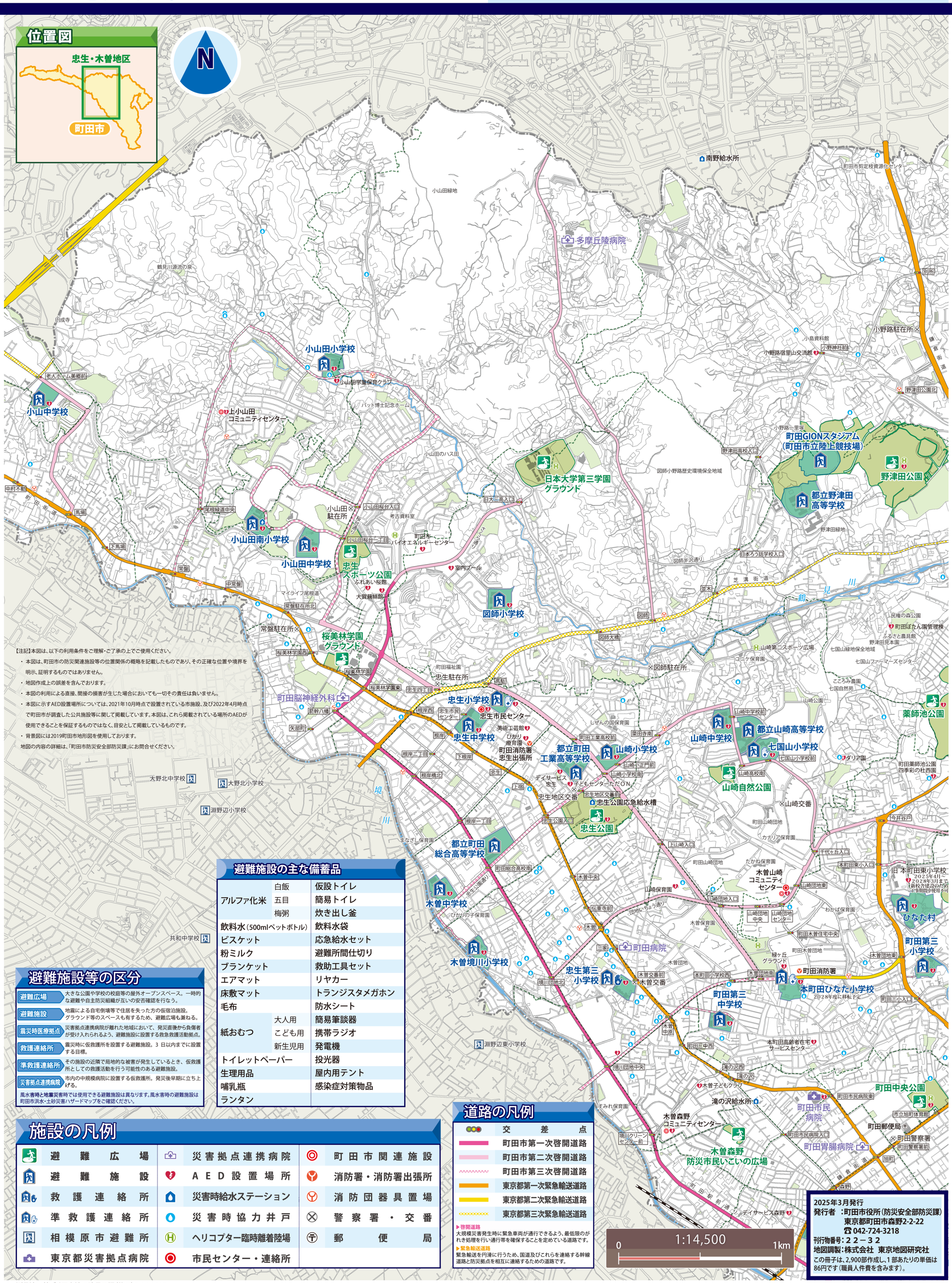
町田市 防災マップ

Machida City Hazard Map
町田市防災地図 | 마치다시 방재지도

[忠生・木曽地区]

Tadao/Kiso Area
忠生、木曽地区 | 다다오・기소 지구

地震から身を守るには、日ごろからの「準備」が重要です。
「準備」のためには、避難する場所や用意すべき物を「知る」ことが必要です。
このマップを参考に、今できる「準備」を「知り」、地震発生時に備えましょう。



【注記】本図は、以下の利用条件をご理解・ご了承の上でご使用ください。

- 本図は、町田市の防災関連施設等の位置関係の概略を記載したものであり、その正確な位置や境界を明示、証明するものではありません。
- 地図作成上の誤差を含んでおります。
- 本図の利用による直接、間接の損害が生じた場合においても一切その責任は負いません。
- 本図に示すAED設置場所については、2021年10月時点で設置されている市施設、及び2022年4月時点で町田市が調査した公共施設等に関して掲載しています。本図は、これら掲載されている場所のAEDが使用できることを保証するものではなく、目安として掲載しているものです。
- 背景図には2019町田市地形図を使用しております。

地図の内容の詳細は、「町田市防災安全部防災課」にお問合せください。

避難施設等の区分

避難広場	大きな公園や学校の校庭等の屋外オープンスペース。一時的な避難や自主防災組織が互いの安否確認を行なう。
避難施設	地震による自宅倒壊等で住居を失った方の仮宿泊施設。グラウンド等のスペースも有するため、避難広場も兼ねる。
震災時医療拠点	災害拠点連携病院が離れた地域において、発災直後から負傷者が受け入れられるよう、避難施設に設置する救急救護活動拠点。
救護連絡所	震災時に仮救護所を設置する避難施設。3 日以内までに設置する目標。
準救護連絡所	その施設の近隣で局地的な被害が発生しているとき、仮救護所としての救護活動を行う可能性のある避難施設。
災害拠点連携病院	市内の中規模病院に設置する仮救護所。発災後早期に立ち上げる。

風水害時と地震災害時では使用できる避難施設は異なります。風水害時の避難施設は町田市洪水・土砂災害ハザードマップをご確認ください。

避難施設の主な備蓄品

アルファ化米	白飯	仮設トイレ
	五目	簡易トイレ
	梅粥	炊き出し釜
飲料水（500mlペットボトル）		飲料水袋
ビスケット		応急給水セット
粉ミルク		避難所間仕切り
ブランケット		救助工具セット
エアマット		リヤカー
床敷マット		トランジスタメガホン
毛布		防水シート
紙おむつ	大人用	簡易筆談器
	こども用	携帯ラジオ
	新生児用	発電機
トイレットペーパー		投光器
生理用品		屋内用テント
哺乳瓶		感染症対策物品
ランタン		

施設の凡例

避難広場	災害拠点連携病院	町田市関連施設
避難施設	AED設置場所	消防署・消防署出張所
救護連絡所	災害時給水ステーション	消防団器具置場
準救護連絡所	災害時協力井戸	警察署・交番
相模原市避難所	ヘリコプター臨時離着陸場	郵便局
東京都災害拠点病院	市民センター・連絡所	

道路の凡例

- 交差点
- 町田市第一次啓開道路
- 町田市第二次啓開道路
- 町田市第三次啓開道路
- 東京都第一次緊急輸送道路
- 東京都第二次緊急輸送道路
- 東京都第三次緊急輸送道路

▶啓開道路
大規模災害発生時に緊急車両が通行できるよう、最低限のがれき処理を行い通行帯を確保することを定めている道路です。

▶緊急輸送道路
緊急輸送を円滑に行うため、国道及びこれらを連絡する幹線道路と防災拠点を相互に連絡するための道路です。

2025年3月発行
発行者　：町田市役所（防災安全部防災課）
東京都町田市森野2-2-22
☎ 042-724-3218
刊行物番号：２２－３２
地図調製：株式会社　東京地図研究社
この冊子は、2,900部作成し、1 部あたりの単価は86円です（職員人件費を含みます）。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 215